
コンプレックス

貂寡

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

コンプレックス

【Nコード】

N9877F

【作者名】

貂寡

【あらすじ】

私は臆病・・・私は怖がり・・・そんな私は恋をする

ずっと思っていたんだ。

スッゴクスタイルが良くて、スッゴク美人だったらどんなに幸せダロウって。

小学生の頃からずっとバカにされてきた。太ってて、しかも理想が高くてブスだって、ずっと言われてきた。

今となっても覚えてる。ずっと虐められた、はねにされた。だけど中学生になつて恋もした。好きになつた。だけど・・・怖かった、ブスなのに好きになつた私は怖かった。

それも昔の思い出。だけど変わらないのは私のブスさとデブさ。けど高校に入つて変わろうと思った。

痩せよう、

そんな矢先に彼と出会った。肌が白くて唇と頬はほんのり赤く色付いた顔立ちだった。恋なんてもう信じてなかった、怖い思いもしたくなかった。

私は臆病なんだ。

だけど。好きになつていた、いつの間にか目で追うようになっていた。

なんでだろう、恋なんてしなくなかった、怖い、ブスとかデブって言われるよりもずっと、この気持ちに感付かれる日を待つのが怖い。私の目には彼しか映らない。いつの間にかそんな日が続いていた。ある日友達が言った、彼を好きな人が私意外にもいるんだって・・・その事を聞いて臆病な私は諦めようとした、だけど恋した気持ちは抑えられない。

今こうなることを知っていたら・・・

私はあの時、彼から手を引いていたら良かったのにと後悔だけが残された。

男友達に私の気持ちを話して見ることにした。
すべてを話終わると気分が楽になった。

しかし完全には消えなかった。

彼にメールを送る。ただそれだけの作業が私にはできない。

どうしたら良いのかもわからない。

送信ボタンを押した時もうどうなっても良いと思った。

臆病な私が吹っ切れた時だった。

着信を知らせる音が部屋に鳴り響き、寒くなった中町を車が走る音だけが残る。

メールにはこう書かれていた。

『ふーん。でその人のアドが知りたいわけだ!』

着信の重さにも増してこの言葉は私に響いた。

洗いざらい話した私にはもう好きな人のアドを聞いてメールするか手段が残されていなかった。

『うん。』

こう送ることが私の思いと思った。

私は臆病で何をするにも道が要る。友達にメールするのでさえ勇気がいる。

『これアド。』

アドが貼られたメールが届いた。

『ありがとう。』

こうおわらせるメールも何通目だろう。

アドを手に入れたとしても、私はブスでデブさ。だから相手にしてくれる人もいない。

今メールを作成しようと携帯を開いた。しかし、携帯を閉じる。

何時も逃げてしまう私・・・

これからどうすれば・・・戸惑いと淡い恋だけが私の心に浮き沈み、アドは携帯に眠って行った。

私は臆病・・・

だから知りたくない
だから聞こえない
君の本音
私の本音

（後書き）

実話のようなそうでないようなよくある・・・のか分かりませんが
私的には有りそうな話でした。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n9877f/>

コンプレックス

2010年11月14日09時40分発行